

沼津西ロータリークラブ



2024～2025 年度・クラブテーマ

「Try It Now」やってみよう

会長 鈴木 和憲 / 幹事 久松 但

第 1521 回 第 34 巻 20 号 2024 年 12 月 26 日

■■本日のプログラム■■

外部卓話 沼津市商工会 事務局

原所長 加藤直人様

■1 月のプログラム■

1 月 02 日(木)	祝日週休会
1522 回 18:30	新年会 クラブ管理運営委員会
1 月 09 日(木)	ひろ繁
1 月 16 日(木)	祝日週休会
1523 回 12:30	会員卓話 1 年の抱負 巳年会員 名古屋輔君・羽切勝利君 瀬川ゆう子君
1 月 23 日(木)	
1524 回 12:30	クラブフォーラム
1 月 30 日(木)	グローバル補助金

例会場 〒410-0046 沼津市米山町 3-37

アクアガーデン迎賓館沼津

TEL 055-920-5200

事務局 久松会計事務所内

TEL 055-961-2050 FAX 055-961-2600

E-mail: numawestrc@gmail.com

例会日 毎週木曜日 12:30 点鐘

公共イメージ向上委員長 名古屋 良輔 / 編集者 小野 洋子

出席報告 会員数 21 名

例会	会員数	出席数	出席率
1521 回	21 名	16 名	76.19%

●欠席者 (5 名)

瀬川ゆう子、下原満知子、重光 純、土屋昌之、渡邊勝也

会長挨拶

●会長 鈴木 和憲

f d v CNN 英市場調査ユーロモニターが発表した世界の観光都市ランキングの 2024 年版で、パリが連続 4 回目の 1 位を獲得したそうです。

ランキングは世界の主要都市を対象に、観光や持続可能性、経済動向、保健、安全などの分野を総合して毎年発表されています。

24 年版では、上位 10 都市のうち 6 都市を欧州が占めています。パリに続く 2 位がマドリッドで、4-5 位にローマとミラノが並び、7 位がアムステルダム、10 位がバルセロナでした。

昨年 10 位だったロンドンは 13 位に下がったが、英調査会社オックスフォード・エコノミクスが今年発表した世界の都市ランキングでは、ロンドンがトップだったそうです。

同市は観光インフラの分野でパリに次ぐ 2 位だったが観光政策、持続可能性、保健、安全の各分野ではトップ 10 には入らなかった。

アジア太平洋地域からは、3 位に東京、8 位にシドニー、9 位にシンガポールがはいっています。日本は今年、記録的な円安の影響で外国人旅行者が急増。東京を訪れた外国人はコロナ禍前を越え、130 万人近くに上りました。

米国から 10 位以内に入ったのは、6 位のニューヨークのみ、次のロサンゼルスは 18 位でした。

今年、外国からの旅行者が最も多かった都市はバンコクで、昨年首位だったイスタンブールの 2300 万人を 1000 万人近く上回って 3240 万人に達し、トップに躍り出たそうです。

●ゲスト(1 名)

1.沼津市商工会 事務局 原所長 加藤直人様

●スマイル報告

1.井上武雄：誕生日のお祝いありがとうございます。

2.久松 但、3.杉山真一：沼津市商工会 加藤様本日の卓話、よろしくお祈りします。

4.芹澤貞治：井上さんの退会、非常に残念です。今後の益々の活躍をお祈りします。皆様、上期には SAA に協力ありがとうございました。

5.本村文一：井上さん、今まで、ご苦労様でした。さみしいです。

6.名古屋良輔：1 年間、御苦労様でした。

7.本村文一：所用により、早退します。

幹事報告

1. クラブの例会変更等

- ①沼津 RC 12/27(金) 休会 MU：無し
- ②沼津北 RC 12/31(火) 休会 MU：無し

2. 報告・連絡事項

- ①令和7年2月16日(日)開催の静岡第2グループ IM の出欠席をご記入ください。
- ②次週 1/2 は、祝日週休会です
- ③次々週 1/9 は、沼津市原のひろ繁にて 18:30 より新年会です。
- ④良いお年をお迎えください。

外部卓話

そもそも商工会とは？

元々の町村部が商工会の管轄エリア。裾野や御殿場は、今は市になっているが元々は町村部であったため“商工会”になっている。沼津市商工会も元々は、駿東郡原町にあった“原町商工会”と、田方郡戸田村にあった“戸田村商工会”が、沼津市と戸田村の合併によって“沼津市商工会”に。←「1 市町村に商工会は 1 つ」のルールによるもの。

商工会議所との違いについて。商工会議所も似たような業務を行っているが、元々の成り立ちが異なる。商工会は、戦後の S35 年に上記の目的のもとに設立されたが、商工会議所の成り立ちは、元々は“実業界の意見を集約”することを目的に設立された。(欧米との通商条約を結ぶ際の弊害を解消するため)

沼津市商工会について

⇒管轄エリア、会員数について (コロナ前 737⇒現在 753)。

会の事業実施体制 (30 名の役員の理事会による議決で決定、実施)

事務局の体制について (事務局長 1、正職員 7、パート 2)

商工会の業務について

⇒各業務について簡単に説明。私が働き始めた 15 年前は“経営指導”のウエイトは正直低かった。⇒近年では比重が高い (補助金の申請支援など)。

以前は、“税務・経理”と“労務”、“まちづくり”の比重が高かった。私も商工会に入る前はイベントをやる団体だと思っていた。

その他では、専門家派遣や IT (とくに会計ソフトの導入) が多い。

国内の企業数、中小企業数、従業者割合の統計について紹介。

中小企業の定義、会員はほぼこれにあたり、もっと踏み込めば、ほとんどは小規模企業者であることを説明。

そのような状況下で、商工会の支援内容は、H26 年の「小規模企業振興基本法」をきっかけに大きく変化してきたことを説明。

キーワードは「持続的発展」。根底にあるのは、日本の国が長い歴史のなかで初めて経験する“人口の減少”。人口が減少すれば、市場の規模は小さくなり競争が激化する。

人口の減少や市場の縮小は地方に行けば行くほど顕著になる。こういった事業環境の変化に対応を迫られる。

じゃあ、何をすれば良いのか。⇒国は“中小企業も事業計画を策定しなさい”と言っている。⇒思い付きで動かない。計画を立て⇒実行⇒評価⇒改善の PDCA サイクルを回せ、と言っている。

そうは言っても、中小企業ではマンパワーが限られているなかで事業計画の策定なんてなかなかやらないので、国は“持続化補助金”というエンジンをぶら下げた。

申請書と言う名の事業計画を作成させ、良い計画には補助金を出して応援する仕組み。

これまで中小企業が国に補助金の申請をする機会なんてほぼほぼなかった。あったとすれば、製造業の方が新しい工作機械等を導入する際に銀行経由等でコンサルを紹介してもらって「ものづくり補助金」を申請するくらいで、補助金は身近なものではなかった。

持続化補助金に続いて、県や市からも小規模事業者向けの補助金が出てくるようになり、商工会の業務に“補助金の申請支援”が加わり比重も高くなっている。経営指導としては、他に専門家派遣や事業承継、創業支援の割合も多くなっている。

コロナ禍では、商工会を経由した各種助成金や補助金制度、民間向けの支援策 (Go to Eat や Go to トラベル、プレミアム商品券など) も業務として携わった。

